

## 本 会 記 事

### 1. 平成6年度総会並びに研究発表会

四国植物防疫研究協議会の平成6年度総会並びに研究発表会は約160名が参加して、11月15、16の両日、高知市サンピア高知で開催された。

#### 1) 総 会

15日午後1時から開催され、平成5年度庶務報告、編集報告、会計報告および会計監査報告が承認された後、平成6年度の事業計画、編集計画、予算および役員改選に関する諸案が上程され、承認された。続いて規約並びに投稿規定の一部改正案が提案され、決定された。また、会費を通常会員については年間2,000円、特別会員は25,000円（ただし、卸売関係または団体は15,000）に、平成7年度から改訂することが承認された。なお、平成6年度の新役員には次の諸氏が選出された。

【会長】川崎 健 【副会長】井上 斉、別宮岩義、【評議員】吉岡廣美、金磯泰雄、谷本温暉、山本弘幸、都崎芳久、十河和博、石田典兄、上森 實、橘 泰宣、古谷眞二、高井幹夫、山本 磐、岡田忠虎、小金澤碩城、日本化薬（株）、日本曹達（株）、塩野義製薬（株）【会計監査】渡部悦也、立花忠雄 【庶務幹事】小金澤碩城 【会計幹事】佐藤豊三 【編集委員】岡田忠虎、谷 利一、岡本秀俊、大林延夫、大口富三、市川俊英、古谷眞二、高井幹夫、小金澤碩城、岩崎真人、佐藤豊三

#### 2) 研究発表

15日午後1時50分から16日12時まで、次の15題の講演が行われた。

##### 1. 奈尾雅浩（愛媛農試）

イチゴ輪斑病の病徴発現とその被害について

##### 2. 森 充隆・楠 幹生・十河和博（香川農試）

*Pythium aphanidermatum* (Edson) Fitzpatrick によるパセリ根腐病（仮称）の発生

##### 3. 佐藤豊三・中西建夫・小金澤碩城（四国農試）

*Sclerotium rolsii* Saccardo によるヤーコン白絹病（新称）

##### 4. 鐘江保忠・宮下武則・堀川法隆（香川病害虫防）

スクミリングガイの防除方法に関する研究 1. 休閑期の圃場耕起法と石灰窒素秋処理の効果

##### 5. 三浦 靖・長尾昌人・渡辺丈夫・毛利伸治・池内隆夫（香川農試）

香川県におけるアスパラガスのネギアザミウマの発生実態と数種薬剤の防除効果

##### 6. 下元満喜（高知農技セ）・奈良部 孝・伊藤賢治（農研セ）・大島康臣（日植防）

高知県において検出されたネコブセンチュウ

##### 7. 神余暢一・松本英治（香川農試府中）

モモさび病に対する薬剤の効果と体系防除の検討

##### 8. 金磯泰雄（徳島農試）

ビニルハウス側面上部の開放によるハス褐斑病の防除

##### 9. 上田 進・兵頭 衛（愛媛経済連農技セ）

愛媛県の新しい花で発生した病害と対策（3）

##### 10. 杉本久典（高知南国病害虫防）・小林秀治（四国農試）

ウンカ、ヨコバイ類に対するセスジマキバサシガメ（*Stenonabis uhleri* Miyamoto）の捕食特性（予報）

##### 11. 大泰司 誠・岡田忠虎（四国農試）

タバココナジラミの系統の増殖性にかかわる生態的特性

##### 12. 金崎秀司（愛媛農試）・森貞雅博（愛媛病害虫防）

タバコガ類の異常発生について

##### 13. 竹内繁治（高知農技セ）

キュウリモザイクウイルス（CMV）およびソラマメウルトウイルス（BBWV）のシシトウガラシにおける増殖・移行に及ぼす温度の影響

##### 14. 笹谷孝英・山本孝し・小金澤碩城（四国農試）

クロウバ葉脈黄化ウイルス（CYVV）インゲンマメ黄斑モザイクウイルス（BYMV）に対するソラマメの品種抵抗性

##### 15. 楠 幹生（香川農試）・寺見丈宏（野菜茶試）・十河和博（香川農試）

PCR-ハイブリダイゼーション法によるキク矮化ウイルスの遺伝子診断

#### 3) 特別講演

15日午後3時20分から5時まで高知県植物防疫協会川村満氏による「斑点米について」、日本植物防疫協会高知試験農場山本磐農場長による「シバの葉枯性病害とその病原菌をめぐる2、3の疑問」の

二題の講演が行われた。

#### 4) 協 議

16日午前9時から10時まで、平成6年度の病害虫発生の特徴とその対策並びに防除上の問題点について、徳島県：吉岡廣美、香川県：衣川 勝、愛媛

県：石田典兄、高知県：高橋尚之の各氏より報告が行われた。

#### 2. 次年度大会

平成7年度総会および研究発表は、平成7年11月に愛媛県において開催されることが決定された。